令和6年度 第3回綾瀬高等学校学校運営協議会【議事録】

日　時：令和7年3月10日（月）15：30～16：45
会　場：会議室

1 会長あいさつ

2 校長あいさつ

3 協議（○委員　●学校側）
（1） 令和6年度 学校目標に係る校内評価報告について
ア 教育課程、学習指導
①取組の内容にある具体的な方策「動画やオンライン授業等、ICT機器を活用した授業研究と指導と評価、生成AI利用への生徒の正しい理解を検討する。（学習支援G）」について
●達成状況として、電子黒板の導入によりICTの活用が進んだ。生徒の授業への取り組みが良くなり、教員もスキルを習得してきている。
●課題として、特別教室に電子黒板がないため全教室への導入が望まれる。
②取組の内容にある具体的な方策「本校生徒にとって必要な学校のUD化を検証し、必要な対応を検証するとともに組織的に課題の改善を図る。（学習支援G）」について
●達成状況として、UD化も学校全体でかなり浸透してきた。
●課題として、新着任者に対して、UDに関する説明を丁寧にしていく必要がある。

イ 生徒指導・支援
①取組の内容にある具体的な方策「Coを軸に学校全体で定期的な情報共有を行う。緊急時にはCoや生徒支援Gを中心に体制を構築し、SCやSSWと連携を図り、教職員全体で生徒への支援に対応する。（生徒支援G）」について
●達成状況として、教育相談コーディネーター（Co)を中心に、学年間で情報共有をした。
●生徒指導を行う際に、学校だけで判断するのが難しいケースについては、警察等の外部機関と相談、連携することができた。
●課題として、生徒像の多様化があり、指導の在り方について検討する時間が多くなっている。また、保護者との連携が不可欠であるが、保護者対応が難しいケースもある。
②取組の内容にある具体的な方策「生徒が積極的に参加できる部活動の在り方について検討するとともに、生徒の活動状況を、校内外に掲示物やSNS等を活用して紹介していく。（生徒会・広報G）」について
●達成状況として、Google classroomを有効に活用することにより、生徒が積極的に部活動等に参加できるようになってきた。ICTを活用して、生徒の自己肯定感を高め部活動に参加できるようにしていきたい。
●課題として、校内外への情報発信が不十分な点があるので、更なる発信の方法を検討していく。

ウ 進路指導・支援
①取組の内容にある具体的な方策「民間Web教材や模擬試験を有効に活用する。生徒から提出された受験報告の蓄積や進路関係業者等の受験報告を活用していく。（進路支援G）」について

●達成状況として、民間Web教材を活用することにより、自宅での学習や課題として有効に活用することができた。進路報告サイトを活用し大学入試方法の多様化に応じた対応ができた。

●課題として、掲示板の活用等を通して、多くの生徒が主体的に進路を考えることができるようにしていきたい。

②取組の内容にある具体的な方策「総合的な探究の時間、学校行事やインターンシップ等を通じて他者との協働・課題解決能力の向上につなげる工夫をする。（進路支援G）」について

●達成状況として、総合的な探究の時間については、「NPO法人SoELα」と連携して探究活動を行った。綾瀬市とも連携を図り、地域行事である納涼祭へ参加することにより、協働的な探究活動を行うことができた。

●課題として、インターンシップへの参加生徒が少ないので、参加生徒が増えるような取り組みを考えていきたい。

エ　地域等との協働

①取組の内容にある具体的な方策「学校運営協議会の意見を全職員で共有し、それを参考に学校の諸活動の改善を図り、外部に発信する。（学校管理G）」について

●達成状況として、職員会議等を通して全職員で共有を図ることにより、諸活動の改善を図ることができた。

●課題として、外部への発信は本校HPのみであるので、その他の方法を模索していきたい。

②取組の内容にある具体的な方策「地域との交流を推進し、その取り組みを。外部にSNSを活用して発信していく。（生徒会・広報G）」について

●達成状況として、綾瀬市のボランティア活動に生徒が応募するようになってきている。また、部活動では綾瀬市主催のイベントへの参加、協力することができた。

●課題として、SNSを活用して外部への発信数が少ないので、増やせるようにしていきたい。

オ　学校管理、学校運営

①取組の内容にある具体的な方策「校内研修や相談窓口の活用等を通し、校内にいる一人ひとりが主体的に共生社会に参画できる意識付けを行う。（インクルーシブ教育推進G）」について

●達成状況として、生徒・教員向けの研修を通して、生徒間ではかなり助け合うようになってきている。教員もかなりインクルーシブに対する理解が進んできている。

●課題として、障害の有無だけでなく、誰でも平等に学べる環境作りが必要であるため、更なる研修等を考えていきたい。

②取組の内容にある具体的な方策「マニュアルを基にした防災訓練を計画的に行い、マニュアルの問題点や改善点の見直しができるようにする。（学校管理G）」について

●達成状況として、DIG研修、9月に帰宅班別訓練を実施した。

●課題として、屋外での訓練は年度当初の早い時期に計画し、訓練を行っていきたい。

③取組の内容にある具体的な方策「職員から具体的な働く上での問題点についての意見を集約し、対応可能な事象については迅速に対応する。（管理職）」について

●達成状況として、毎週行っていた会議を隔週に開催した。減少した会議時間を活用して業務を行うことができ、全体的に業務の効率化を図ることができた。

●課題として、グループ改編を検討し、業務の見直しを行うとともに、業務の効率化を図っていきたい。そのためには、業務を削る思い切った判断が必要である。

（2）学校運営委員の皆様からの意見聴取

①　教育課程、学習指導について

〇電子黒板を導入することにより、ビジュアル化がかなり進んだ。まだまだ課題はあるが、分かりやすい授業づくりに活かしてもらいたい。電子黒板を導入して終わりではなく、授業改善に取り組んで欲しい。
〇先生たちが積極的に、当たり前に電子黒板を使用する状況を作ることが大切である。
●主体的な学びに対する取り組みについて、小中学校の状況を教えて欲しい。
〇中学校では、子どもたちがグループ活動に慣れている。男女間で仲が良く、昔に比べて男女別に固まることが少ない。タブレットを活用した学習を通して、対話的な学びができている部分がある。
〇小学校では、タブレットをツールとして活用して、主体的な学びに取組んでいる。
〇学習資料等のUDフォントの使用がされており、非常に見やすい。継続して使用して欲しい。

② 生徒指導・支援について
●生徒指導については、本校では年間の指導件数は減っている。しかし、非常に時間や指導内容に苦慮する事案が増えている。小中学校の状況を教えて欲しい。
〇中学校では、指導件数は増えている。 生徒だけでなく、家庭支援も必要になっている。職員も若い人が多く、SC等の専門家の意見を聞いて対応している。来年度、児童相談所が綾瀬市専属で市内に設置されるので、相談しやすい環境になる。
〇小学校では、SSWに毎週来てもらい、担任だけでなく専門家であるSSWからも、保護者へ連絡をして児童支援を行っている。
●部活動について、中学校の状況を教えて欲しい。
〇綾瀬市とも連携しながら地域移行を検討しているが、現実問題として課題が多く進めていない現状がある。高校では継続して、生徒の自主的な部活動を目指していって欲しい。

③ 進路指導・支援について
〇塾のチューターによると、データの活用が不可欠であり、データが威力を発揮する。Web教材を継続して活用し、2年後、3年後の成果を見たい。
〇総合的な探究の時間で、綾瀬市役所と協働で「綾瀬納涼祭」で、生徒が企画を出したり、放送委員会が参加したりすることで交流ができた。来年納涼祭がなくなるのは残念であるが、納涼祭に変わる行事に参加をして欲しい。

④ 地域等との協働について
〇自治会とのつながりを密にしていくことが大切であると感じる。地域の行事と係われるとよい。
〇自治会と連携した交通安全指導を、実施することができていない。これからも自治会とのつながりを持っていただきたい。
〇部活動で地域のボランティアへの参加が多いようなので、これからも参加をしていって欲しい。
●学校へ申し出ていただければ、検討していきたい。

⑤ 学校管理、学校運営について
●共生社会への参画について、ご意見を伺いたい。
〇学校からの提示される資料は、UDフォントを使用しているので大変見やすい。「インクルーシブは特別ではない」という視点にしたい。障害の有無に関わらず、平等に指導していくことが大切である。
●防災訓練について、ご意見を伺いたい。
〇避難所として学校に来る方への対応については、地域と情報を共有する必要があると感じる。普段から近隣住民と顔を合わせる機会があるだけでも対応が違ってくると思う。

●働き方改革について、小中学校の状況を教えて欲しい。
〇職員一丸となり、着実に前進していることを実感しているが、19時に声掛けして帰宅を促すようにしている。
〇職員の理解を得ながら、働き方改革を進めていって欲しい。

5 有識者による評価
（1） 教育課程、学習指導
①電子黒板の導入で、分かりやすい授業づくりに活かしてもらいたい。導入して終わりではなく、授業改善に取り組んで欲しい。
②資料等のUDフォントが使用されており、非常に見やすい。継続して使用して欲しい。
（2） 生徒指導・支援
①SCやSSWと連携を密にして、情報共有を図ることが大切である。綾瀬市に児童相談所が次年度設置されるので連携が大切になってくるので、有効に情報交換を行って欲しい。
②中学の部活動は地域以降を行おうとしているが、まだ課題が多い。高校では継続して、生徒の自主的な部活動を目指していって欲しい。
（3） 進路指導・支援
①民間Web教材を欠席者や課題に活用していることは、良い取組である。進路決定に関しては、データが重要であるので、Web教材を活用して、2年後、3年後の成果を見たい。
②総合的な探究の時間での綾瀬市役所と協働した。地域の行事に参加する取り組みは、継続して行っていって欲しい。
（4） 地域等との協働
①自治会とのつながりを密にしていくことが大切であると感じる。以前行っていた交通安全指導等の実施について検討して欲しい。
②部活動で地域のボランティアへの参加が多いようなので、これからも参加をしていって欲しい。
（5） 学校管理、学校運営
①「インクルーシブは特別ではない」という視点にしていくために、障害の有無に関わらず、平等に指導していくことが大切である。
②避難所として学校に来る方への対応については、地域と情報を共有する必要がある。普段から近隣住民と顔を合わせる機会があるだけでも対応が違ってくる。
③職員の理解を得ながら、働き方改革を進めていって欲しい。

6 報告事項
特になし

7 その他
令和7年度入学式は、4月8日（火）10時からになる。
次年度委員の継続について、4月当初に電話連絡する。
報償費の振り込みについては、手続きを行っている。

8 閉会

【配付資料】
令和6年度 学校評価報告書（実施結果）

以上